

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品の名称	エキスパンションジョイントカバー用耐火帯
製品の概要	アルカリアースシリケートウール（AES）ブランケット（アルカリアースシリケートウールをブランケット状に成形したものを）、アルミガラスクロスで被覆し、幅方向端部に溶融亜鉛めっき鋼板の取付金具を固定したものを。
製造者情報	
会社名	株式会社エービーシー商会
住所	東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門	アルウイトラ・シーリング事業部 販売・技術支援部 製造管理部
電話番号	03-3507-7291
FAX番号	03-3507-7137
緊急連絡先	03-3507-7291

2 危険有害性の要約（アルカリアースシリケートウールの情報）

GHS分類	: 区分に該当しない/分類できない
GHSラベル要素	: -
危険有害性情報	: -
その他の有害性情報	: 眼、皮膚などに触れたとき、一過性の機械的刺激を生じることがある。 粉じんを長期にわたり多量に吸入したとき、呼吸器への影響を生じるおそれがある。
注意書き	: -

3 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別	: 混合物	
組成	: 基材…アルカリアースシリケートウール (SiO ₂ 70~80%、CaO+MgO 18~25%) 面材…アルミガラスクロス 金具…溶融亜鉛めっき鋼板	
化審法（官報公示整理番号）	: 登録あり（固溶体のため、化審法上は上記成分の混合物となる）	} アルカリアース シリケートウール の情報
労働安全衛生法通知対象物	: 314	
PRTTR法	: 非該当	
毒劇物法	: 非該当	
化学物質を特定できる一般的な番号（CAS番号）	: 436083-99-7	

4 応急措置

製品を裁断してアルカリアースシリケートウールの粉じんが発生する場合

- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 水または微温湯で洗い落としたのち、石鹸でよく洗う。痛みが残ったり、なにか症状のあるときは、医師の診察を受ける。
- ・眼に入った場合 : 異物感がなくなるまで、流水で洗浄する。眼をこすってはならない。
- ・飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗わせる。異常があれば医師の手当をうける。

5 火災時の措置

不燃性なので、火災時の措置は特にない。

6 漏出時の措置

通常は面材で被覆された製品なので、漏出時の措置は特にない。

- ・ 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：粉じんがこぼれ、飛散を防止することができない場合には、防じんマスクを着用する。
- ・ 環境に対する注意事項：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- ・ 封じ込め及び浄化の方法及び機材：粉じんが飛散しないように、掃除機で回収する。掃除機が使用できない場合は、湿潤な状態にして、掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

面材の損傷に注意し、手荒な取扱いはしないこと。

裁断等の加工をする場合は下記に留意すること。

技術的対策：

- ・ 粉じんが拡散するのを防止するために、屋内の取扱い作業所には、必要に応じ、局所排気装置等の対策を講じる。粉じんの飛散を防止することができない場合には、防じんマスクを着用する。

安全取扱い注意事項：

- ・ 眼、皮膚等への接触を避けるため、長袖の作業衣および保護手袋を着用し、必要に応じて保護眼鏡を着用する。

接触回避

- ・ 皮膚、粘膜に触れたり、目に入らないよう保護具を着用すること。

衛生対策

- ・ 作業衣などに付着した場合は、飛散しないように注意しながらよく取り除く。
- ・ 取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。

[保管]

安全な保管条件：水濡れに注意する以外特になし

安全な容器包装材料：特に指定なし

8 ばく露防止及び保護措置（アルカリアースシリケートウールの情報）

管理濃度：質量濃度（吸入性粉じん） … 3.0mg/m³（遊離けい酸含有率ゼロが適用される）

繊維数濃度は定められていない。

許容濃度：アルカリアースシリケートウールとしての許容濃度は定められていない。

設備対策：粉じんの発散源を密閉するか、局所排気装置、除じん装置を設置する。

設置することが困難な場合は下記に定める保護具を使用すること。

保護具：防じんマスク

作業環境中の濃度が、上記の基準を超えるおそれのある場合は、防じんマスクを着用する必要がある。防じんマスクの型式は、フィルタ交換型が通常は適している。多くの種類の国家検定品が市販されているので、この中から作業に適したものを選定し、顔面への密着の状態には特に留意するとともに、フィルタの点検と交換などの保守管理を適切に行う。

保護眼鏡

ゴーグル、サイドシール付き保護眼鏡など作業に適した保護具を使用する。

手袋・作業衣

ゴム手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにする。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	: ブランケット状
色	: 基材 (アルカリアースシリケートウール) … 白色 面材 (アルミガラスクロス) … 銀色
臭い	: なし
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 非引火性
自然発火点	: なし
分解温度	: データなし
pH	: 水に不溶
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水、有機溶剤に不溶
n-オクタール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 真比重 2.4~2.8
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 平均繊維径 3~6 μm
最高使用温度	: 1,300℃

10 安定性及び反応性

反応性	: 安定
化学的安定性	: 安定
危険有害反応可能性	: 特になし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 特になし

11 有害性情報 (アルカリアースシリケートウールの情報)

- ・急性毒性
データなし
- ・皮膚腐食性/刺激性
皮膚刺激性試験 非刺激性 (OECD 439)
ただし、皮膚について場合にはかゆみや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性の障害を生ずることはないとされている。
- ・目に対する重篤な損傷性/眼刺激性
本製品が直接目に入った場合には物理的な刺激作用があるが、一過性で慢性の障害を生ずることはないといわれている。
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
データなし
- ・生殖細胞変異原性
データなし

・発がん性

EU CLP規制1272/2008/EC（化学品の分類、表示、包装に関する規制）のNoteQの要件を満たし、EU発がん性分類にあてはまらない。国際がん研究機関（IARC）では、アルカリアースシリケートウールは発がん性の分類の記載がない。

・生殖毒性

データなし

・特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

・特定標的臓器毒性（反復ばく露）

粉じん中に吸入性繊維が含まれるので、長期間にわたり大量に吸入すると呼吸器系障害の生じるおそれと考えられている。しかし、現在においては、アルカリアースシリケートウールの取扱いにおいて、これに起因した障害が発生したことは報告されていない。

・誤えん有害性

データなし

12 環境影響情報

- ・生殖毒性 : データなし
- ・残留性・分解性 : データなし
- ・生体蓄積性 : データなし
- ・土壌中の移動性 : データなし
- ・オゾン層への有害性 : データなし

13 廃棄上の注意

本製品から発生する廃棄物は、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づく廃棄物の分類の“ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず”に該当するので、通常の産業廃棄物として取扱って差し支えはない。

14 輸送上の注意

国際規制

- ・国連番号 : 該当しない
- ・国連品名 : 該当しない
- ・国連危険有害性クラス : 該当しない
- ・副次危険 : 該当しない
- ・容器等級 : 該当しない
- ・海洋汚染物質 : 該当しない
- ・MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み湯雄される液体物質 : 該当しない

国内規制

- ・海上規制情報 : 該当しない
- ・航空規制情報 : 該当しない
- ・陸上規制情報 : 該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 危険性はないが、輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意する。

15 適用法令

労働安全衛生法	：表示・通知対象物（人造鉱物繊維）
粉じん障害防止規則	：適用 ^(注)
消防法	：適用なし
危険物船舶運送及び貯蔵規則	：適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	：適用なし

(注) アルカリアースシリケートウールは、「粉じん障害防止規則（粉じん則）」において「鉱物」に該当し、次の作業を行う場合は粉じん則の適用を受けるが、「特定化学物質障害予防規則（特化則）」などその他の法規の適用は受けない。

- ① 鉱物（本製品）を裁断し、彫り、または仕上げする場所における作業（粉じん則別表1の6号）
- ② 鉱物（本製品）を動力により破砕し、粉砕またはふるいわける場所における作業（粉じん則別表1の8号）
- ③ 耐火物を用いて窯、炉等を築造し、若しくは修理し、または耐火物を用いた窯、炉等を解体し、若しくは破砕する作業（粉じん則別表1の19号）

16 その他の情報

[その他]

使用前のアルカリアースシリケートウール中には、遊離けい酸は存在しないが、更なる加熱（1,000℃以上）に伴い、繊維の結晶化が進行し、表面の一部が遊離けい酸の一種であるクリストバライトに徐々に変化を起こす。使用后、これらの物質を廃棄すると、少量の遊離けい酸が含まれる粉じんが発生する場合がある。遊離けい酸はじん肺を生じる作用があるため、窯炉の補修、解体等においては、この粉じんを吸入することがないように注意する必要がある。なお、管理濃度は次の式で算出される。

$$\text{管理濃度 (mg/m}^3\text{)} = 3.0 / (1.19Q + 1) \quad Q : \text{遊離けい酸含有率 (\%)}$$

[改訂情報]

改訂年月日	内 容
16/12/19	新規作成
18/06/25	化審法記載を修正 「11 有害性情報」に皮膚刺激性試験（OECD 439）結果を表記
21/07/20	JIS Z7253改正に伴う表記変更

[参考文献]

- 1) IARC : Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans Vol.81 (2002) , “Man-made Vitreous fibres”
- 2) GFA, RCFA, RWA : 「人造鉱物繊維（MMMF）繊維数濃度測定マニュアル」 (1992)
- 3) AGGIH : 「許容濃度の勧告」 (2020)
- 4) 日本産業衛生学会 : 「許容濃度の勧告」 (2019)
- 5) JHIWA : 「高温断熱ウール製品の取扱い」 (2018)
- 6) CEN prEN1094-1
- 7) 1272/2008/EU Classification, labeling and packaging of substances and mixtures
- 8) JHIWA : 「工業会モデルシート（AES）」

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。